

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後同ディサービス たねまき				
		公表日 2026年 1月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	集団療育、個別療育など1階と2階に分かれ、それぞれのスペースを設けることで適切な環境となっている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	人員配置加算に応じた適切な職員数で療育を実施している	個別療育を実施している性質上、より子どもたちの様子をしっかりと見れるように職員の増員を検討している
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		現時点で車いすを使用する利用者などがないが、今後利用があった際には階段を使用できないため、バリアフリー対策を検討する必要がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		児童が体を動かす場所の用意など環境調整による工夫を検討している
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	社員、アルバイト、パートなど雇用形態にかかわらず、1on1を実施し、目標設定や振り返り、業務改善の意見を広く求めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者向け評価表によるアンケートを実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		第三者機関等を参照したが、適当なサービスが見つからなかったため、実施していない。今後も適当な機関やサービスを探していくたいと考えている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	アプリケーション等の使用により、療育に携わる職員が支援計画の閲覧、支援目標に沿った支援の実施が可能な状態にしている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	契約時にアセスメントシートを使用した聞き取りを行い、それらをもとに個別支援計画を作成。連絡帳アプリにより個別支援計画に基づいた支援と記録の作成を行っている。	より良い標準化されたツール(発達検査等)の導入を検討していくたいと考えている
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	業務終了後にはミーティングを必ず行い、必要な情報を共有している。また勤務形態にかかわらず全員が児童の情報を共有できるようアプリケーション等で記録をとっている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	保育所等とは送迎時に情報共有を行っている。また一部児童に関しては相談支援事業所の担当者会議などを通し、支援内容の共有、連携を行っている	小学校との情報共有、連携の機会が少ないため、今後、改善していきたい
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	次年度、小学校進学を控える児童が複数いるため小学校との連携を検討している また保護者を介してではあるが、個別支援計画の共有などを通して、情報共有と相互理解に努めている	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーハイスクールや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5		現時点で近隣の児童発達支援センターとの交流の機会がないため、実施に至っていないため、今後、検討していきたい
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域交流会を実施することにより、地域のこどもとの交流、活動の機会を設けている	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	今年度中に保護者会を実施予定である	保護者が参加できる研修等を紹介していきたいと考えている
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	今年度中に保護者会を実施予定である	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		マニュアルの策定は実施できているが保護者への周知ができていないため、今後の課題として対策を検討中である
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		全利用者が広く参加できるよう、今後、実施の頻度を高めていきたいと考えている
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	今現在、医師の指示書が必要と思われる重度のアレルギー症状の児童がいないため、保護者へのアセスメントを行い、対応を行っている	今後、重度のアレルギー症状の児童が利用することを想定し、エピペンの使用方法など研修を行いたいと考えている
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		今年度中に実施したいと考えている
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		保護者への周知が課題となっているため、改善していきたい
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書を作成、記録を行っている	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
その他	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約時に身体拘束に関する同意書の説明を行っている。今現在、日常的に身体拘束の必要性がある児童がないため、支援計画への記載は行っていないが日長に応じて対応したいと考えている。	